

## 茨城県の防災啓発イベント「いばらき学ぼうさい」に参画

～いばらきの地震に備える動画・リーフレットで啓発～

日本損害保険協会関東支部 茨城損保会（会長：上西 大介 東京海上日動火災保険株式会社 茨城支店長）では、3月8日（土）に茨城県防災・危機管理課主催で開催された「いばらき学ぼうさい」（イオンモール水戸内原）に、茨城県代協の協力を得て参画しました。当イベントは、近年頻発化している自然災害への関心や災害へ備えるの重要性など、県民の防災意識向上を図ることを目的として開催され、16のブース出展、救命胴衣の使い方の実演、消防車両・災害対応車両・パトカーの展示、スタンプラリーの実施などが行われ、多くの来場者で賑わいました。

当日は、メインコートステージで、上西茨城損保会長から「茨城損保会では、県や県警などと連携し、事故・災害・犯罪の防止および軽減に向けた啓発を行っているが、本日は災害の一つである地震と、地震から身を守るための自助の一つとなる地震保険についてのブースを出展した。」旨の説明がありました。

ブースには500名弱の来場者が訪れ、地震保険クイズを実施しました。また、2024年11月30日に実施した『第1回いばらきの地震・風水害に「備える」を考える日 in つくば』イベントで、いばらき大使兼防災士の檜山沙耶さんによる講座を収録した啓発動画を閲覧いただきました。

クイズでは、①30年以内に水戸市で震度6弱以上の地震が発生する確率は81%となっていること、②地震保険は、政府と損害保険会社が共同で運営する公共性の高い保険であること、③地震による火災での家屋の焼失は、火災保険で補償されないこと、④地震保険の保険料は、どこの保険会社でも同一であること、を出題しました。また、2種のリーフレット（「備えて安心 地震保険の話」「学ぶ 備える いばらきの地震・風水害」）を提供し、説明を行いました。その結果、来場者からは「茨城県の地震リスクは、こんなに高いんですね!」といった声や「リスクが高いから、茨城県の保険料は高額ということがわかりました。」といった声が寄せられました。

茨城県は他県に比べて、地震の発生確率が高いにも関わらず、地震保険の付帯率が全国平均を下回っていることなどから、当支部では、今後も引き続き、地震リスクとそれに備える地震保険の加入促進に向けて、県や茨城県地震等災害保険・共済加入促進協議会と連携して周知啓発に取り組んでまいります。



上西茨城損保会長からの挨拶



地震保険について説明する上西茨城損保会長



いばらき学ぶ。備える。防災フェス 2025 ポスター



「学ぶ。備える。いばらきの地震」パネル展示

くさやち先生の『学ぶ。備える。いばらきの地震・風水害』講座

